


# 手漉き紙の魅力

手漉き和紙による印刷

手漉き写真紙による国際文化交流事業

第四回 手漉き紙「おおむらさき」に見る世界風景写真展



半穹の富士 松崎 英

手漉き紙は中国において発明され、世界各地に伝わり、創意工夫を重ね、現在では伝統技術として様々な形で使用されています。その中でも手漉き紙への写真の印刷は、情緒深く神秘的な風合いを引き出すのに最適であり、目に優しく、見るものを魅了し、心が和む作品となります。手漉き紙を通して、お互いの文化習慣を知り、礼節を持った交流が世界中に広がることを願っています。

静岡（富士山静岡空港）特別展 2014年 01月10日（金）～01月19日（日）

皆様の写真を和紙に印刷してみませんか！

お一人1枚（A5）@100円 先着50名（一日）

日時：01月10日、11日、18日、19日 午前10:00-12:00 午後13:00-16:00

主催：世界手漉き紙文化振興会

後援：日本国外務省、中華人民共和国駐日本国大使館、スロヴェニア共和国駐日本国大使館、日本中国友好協会、静岡県、山梨県、山梨県南都留郡富士河口湖町、静岡県富士市観光交流ビューロー、静岡新聞社・静岡放送社、社団法人やまなし観光推進機構、山梨日日新聞社・山梨放送

協賛：公益社団法人日本写真家協会、日本中国写真家協会、富士山静岡空港、松本印刷株式会社、日本平ホテル株式会社、エス・バルドリームフェリー、静岡県清水文化会館「マリナート」、カメワザック「ラムダ」、山梨県立富士ビジターセンター、京橋薬品「晋栄」、株式会社シグマ、西園いやしの恵泉園、紙の館 足山印刷センターマガジン社・月刊「カメワマン」誌、藤整流法、コスモス・インターナショナル、有限会社山十製紙、キヤノン中国、日本航空上海支店

世界に誇る日本伝統の技

手漉き和紙の魅力、それは一枚一枚の表情ある美しさ。ていねいに漉かれた和紙は、紙の原料や漉く時の厚みなどによってさまざまな美しさを持ち合わせています。また、手漉き和紙は洋紙には見られないほど保存性が良く、まず千年はもつ、といわれています。手漉き和紙の原料に使われるコウゾ、ミヅマタ、ガンビの靱皮繊維は、紙を劣化させる成分、リグニンが少ないため、強くて保存に適した紙ができます。

実際、正倉院には大宝二年（西暦七〇二年）の美濃、筑前、豊前で作られた戸籍に使われた和紙が残されており、和紙の保存性がいかに優れているかを証拠づけています。

UVインクジェットプリンターで直接和紙にプリント



印刷協力:松本印刷株式会社



# 手漉き紙

TESUKIGAMI

## 主な原材料



楮  
こうぞ



三椏  
みつまた



雁皮  
がんび

和紙づくりは大きく「原料を処理する工程」→「原料を加工する工程」→「紙漉き工程」に分けられます。

## 手漉き和紙の製造工程

